

H家(田宮町)のココちゃん(オス・0才)



いつも元気でイタズラ大好きな甘えん坊です。我が家を明るくするアイドルです。

掲載わん・にゃん募集中！ 環境政策課までご連絡ください

ドッグラン市民無料開放日について

現在、休止させていただいています。再開等については、市ホームページおよび広報紙でお知らせします。



問 環境政策課 ☎内線1563

除草剤や殺虫剤が多く使用される時期がやってきました。犬や猫が薬剤をまかれた場所で水を飲んだり、草を口にしたり、あるいはそうした場所を歩いて足の裏や体に付着した薬剤をなめてしまうことによって中毒症状を起こすことがあります。希釈されたほんの少量の薬品でも、小さな体の生

き物には有毒です。食道のただれ、肝機能障害といった命にかかわる事態を引き起こします。犬の散歩はそうした場所を避け、猫は室内飼養に努めましょう。また、体調管理では下痢や嘔吐を見逃さない注意も必要です。

油絵具の豆知識

ペンキ、プリンターのインク、水彩絵具、油絵具、布を染める染料、食品の着色料、化粧品の口紅やアイシャドーなど、我々は生活の中で、数多くの塗料を使用しています。

今回は、美術講習会にちなんで洋画の画材である油絵具についてのお話です。

油絵具は主に、色のもとになる「顔料」と、キャンバスにくっつける役割の「乾性油(亜麻仁油など)」とできています。

「顔料」という言葉は皆さんあまり耳にしたことがないと思います。顔料は水や油に溶けない大きな色の粒子です。その種類には大きく無機顔料と有機顔料の2種類あり、無機顔料は、ラスコー

問 文化芸術課 ☎871-2300

ちょこっとカルチャー入門
掲示板

の壁画にも使用されていた土や鉱物など天然のものからできている天然顔料と、金属を化学反応させることで得られる合成顔料があります。また、有機顔料は石油により染料を不溶性にした顔料です。そのため、絵具の名前も原材料や製造に由来し「イエローオーカー(=黄土)」のように自然そのものの名前がついているものから、「カドミウムレッド」「コバルトブルー」「カーマインレーキ(=不溶性にすること)」など、化学の専門用語のような名前がついているものまであります。違う角度から画材を見てみると発見があるかもしれません。

今回の豆知識に関連するイベント案内

【美術講習会】モデルを使った洋画(人物・人体)の講習

【日時】7月17日(火)～21日(土)午前10時～午後4時

【講師】山本文彦氏・玉川信一氏

【会場】中央生涯学習センター多目的ホール

【受講料】15,000円(一般)・12,000円(学生)

【申込日・場所】7月1日(日)午前10時～ 同センター大講義室

【問い合わせ】文化芸術課 ☎871-2300

